

『高等学校芸術科美術』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年 10 月 8 日 第3・4校時(100 分)

(2) 場 所 美術室

(3) 学年・学級 第1学年(25 名)

使用教科書 高校生の美術1(日本文教出版)

(4) 題 材 名 「生活を彩る模様」

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・サインのデザインの学習を通して、形や色が感情にもたらす効果やデザインが身近な生活を豊かにしていることを学んでいる。

【単元のねらい】

・日常生活で目にする自然物や人工物などの形や色彩の美しさ、用いる場面などを基に、形や色彩の構成などの効果を考え、模様の構想を練る。

・作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫や作者の意図を感じ取る。

【児童(生徒)の状況】

・美術の学習に対して意欲があり、熱心に取り組む生徒が多い反面、少数ではあるが、表現に対して苦手意識をもっている生徒もいる。

・生徒同士の人間関係がよく、話し合い活動などは活発に行うことができる。

(6) 指導計画(全9時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 本字 【教科書 P82,83】	- 日本の伝統文様や生活の中にある模様の鑑賞を行う。 - 日本伝統文様には意味込められていることを知る。	一斉 個別 グループなど	知識
第2次	- 植物や生き物などをモチーフとし、形の単純化を練習する。 - 幾何学的な図形や線を用いて模様を書く。	個別	思考・判断・表現 知識・技能
第3次	目的や機能、用途に応じたデザインを考える。 (パッケージデザイン、壁紙、包装紙、手ぬぐい、バッグなどのデザインなど)	個別 グループ	思考・判断・表現
第4～5次	- 使用する場面、使う人の気持ちなどを想像し、模様を考える。 - アイディアスケッチをする。 - ICT 機器やタブレット端末などを使用し、模様を制作する。	個別	思考・判断・表現 知識・技能
第6次	- 制作途中の作品の相互鑑賞。 - 友達の模様を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取る。 - 友達との意見交換を通してお互いの模様について改善点をまとめる。	一斉 個別 グループなど	思考・判断・表現
第7～8次	- ICT 機器やタブレット端末などを使用し、模様のブラッシュアップを行う。 - 模様の配置を工夫しながら目的や機能、用途に応じた作品になるよう仕上げる。	個別	知識・技能
第9次	- 仕上がった作品をグループで鑑賞。 - 自己の作品について、目的や機能、用途などを説明する。 - 作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫や作者の意図を感じ取る。	一斉 個別 グループなど	思考・判断・表現 主体的に学 習に取り組 む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。